

JARL

香川クラブ報

No. 444 令和4年8月15日



J A 5 Y D E

J A R L 第 1 1 回定時社員総会

JH5LYW

6月26日(日) [J A R L 第 11 回定時社員総会]が、東京西新宿“ベルサール西新宿”において開催されました。

昨年、一昨年は、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、地方からの参加は憚られていましたので出席を見合わせていました。止むを得ず、委任状や議決権署名による参加となり、思うような意思をもって参画することができませんでした。特に一昨年は、執行部からの依頼により委任状を提出したのですが、私の意思とは真逆の総会結果に終わり虚しさを覚えました。



今年は理事・社員選挙の年でもあり、一昨年の轍を踏まないためにも出席すると当初から決めており、森國支部長に出席の相談をしたところ同様な考え方でした。

総会は定刻に始まり、総会成立宣言のあと、議長から総会進行についての注意や採決方法について宣言がありました。その中で、私が未だ納得できないことが2点あります。

まず「コロナ感染対策のため進行の時系列について、第1号議案は30分程度、第2号議案を60分程度、報告事項に20分程度で15時には閉会しますのでご理解ください。採決は挙手でいい、賛成・反対・保留又は棄権の数をもって決定します。」とのことでした。

しかし、その宣言にも拘らず、質疑ではダラダラと質問を受け付けた挙句、やっと採決に移ったと思ったら集計した数が合わず4回も挙手を繰り返す体たらく。議長のせいでは無いにしろ、そこまで時間を消費した責任は少なからず議長にあると憤慨しました。

そして、第2号議案に移ると、今度は「時間が無いので3択をせず過半数で決定します。」と一方的に宣言。そのことに抗議して議長不信任案が提出されると「直ぐに採決します、賛成の方は挙手してください。過半数に達しないので不信任案は否決されました。」とまた一方的に宣言して、2号議案について次々と採決していきました。

私は、議長のやり方があまりに横柄で納得いかず、2号議案の採決は全て棄権することにしました。

総会が終了したのは予定より3時間も遅れた18時30分過ぎでした。

弁護士を4人も執行部席にはべらし、自分が言った事を平気で破り、総会を仕切った議長およびそれを認める執行部に嫌気がさすと同時に、こんな茶番に怒りさえ覚えました。今回の手法が法的には問題は無いかもわかりませんが、弁護士費用を始め、以前から指摘され未だ改善しようとしないうる使途不明な会長の飲食・行動経費について、どんな詭弁を弄しようが到底納得がいきません。

また、総会進行時間にしても、やたら質疑の時間を長びかせ、しかも同じ人を何度も指名し反体制派のガス抜きをさせ、最後には保守派から野次・批判が出るように仕向け、強引に進める卑劣な手法を取っていたとしか考えられません。反体制派から、建設的と思われる意見が出て、的を射ない回答を繰り返し、執行部は自分たちの責任逃れの言葉を並べ立てているのが見え見えでした。

今回の総会で、取り敢えず選挙で選出された理事は皆承認されましたので、今までと違い、少しは良い方向に改善されると信じて見守っていきたいと思っています。

「会員ファースト」が口先だけでないことを願っております。

恒例のフィールドミーティングを中止

JH5LYW

新型コロナウイルス感染症の新たな変異株「BA-5」の出現により、7月初めごろから瞬く間に日本中に感染拡大し、統計上、先進諸国の中では世界で一番感染者数が増大したようです。褒められたことではありませんが、重症者や死者の数では他の重大疾病に比べて圧倒的に少ないとのこと。何処で行動や対応にラインを引くかが議論の分かれるところのようです。

JARL香川クラブにおきましては、メインイベントである「夏のフィールドミーティング」が7月30日(土)31日(日)に計画され、企画・準備を進めていたところですが、国内感染者数が日に追って増大し、香川県においても毎日3桁台と患者数の記録が更新され続ける現状に対して思慮せざるを得なくなりました。

ミーティング参加者の人数は10人程度を目安に考えながら、何時もの会場準備や草文字アートを仕上げていたのですが、締め切り日に目安としていた人数には達せず、数日来的状況を鑑みるにつけ「中止もやむなし」との結論になりました。



参加を楽しみにしていた方、止むを得ず不参加を表明していた方、参加はできないがいつも行事報告を楽しみにしておられる方と思いはそれぞれでしょうが、クラブ員各局には、ガッカリされる結論になりましたことに対し、大変申し訳なく深くお詫びいたします。

さて、その後も新型コロナウイルス感染症に加え、連日35度を超えるような猛暑になすすべもなくただ耐えるだけの毎日之余

儀なくされています。自然界の怖さを思い知らされているところであります。

各局におかれましては、この状況が無事乗り切られFBにハムライフを送られますよう、また次回のクラブ行事には、他の出来事に左右されることなく楽しんで実施できるようご協力くださいますようお願い致します。

FT8 と戯れる (その2)

J15SAI 平田昌三

(前回の内容) FT8 って何だ? ⇒ PC に WSJT-X ソフトウェアをインストール ⇒ リグと接続してワッチ ⇒ DX 局のコールサインがたくさん現れた。

電波を出す前に、運用のお作法を確認することにします。

- ・各バンドで慣習的に使われている FT8 用周波数 (主なもの)

3.531MHz (国内)、3.573MHz(DX)、7.041MHz(国内)※、7.074MHz(DX)、14.074MHz、21.074MHz、144.460MHz、430.510MHz (http://js1cyi.com/blog/?p=98 より)

※ 7.041MHz は、国際的な慣習と異なるため、QSY の議論がなされている。しかしながら 2022 年 7 月現在、国内の FT8 QSO は、7.041MHz で行われているのが実態。

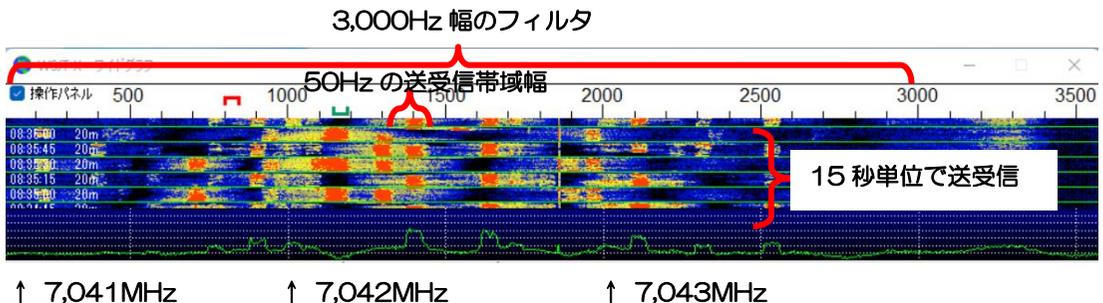
FT8 の勉強を始めたころに混乱したのが、周波数の占有帯域と、周波数の指定方法。たとえば、7.041MHz で運用と聞くと、この周波数では、同時に 2 以上の QSO ができないのではないかと。なのに、10 局受信できた・・・? 訳が分かりません。

そのからくりは、次の事実を紐解けば、見えてきます。

- ・ FT8 の周波数帯域幅は、50Hz 程度
- ・ リグの運用モードは SSB、バンドにかかわらず USB とする
- ・ 運用時はフィルタの幅を 3,000Hz 程度に設定する

・・・ということは、例えば 7.041MHz で運用する場合、周波数遷移の可能性は 7.041MHz ~7.043MHz。送信時の周波数占有帯域が 50Hz なので、この範囲だと $3000 \div 50 = 60$ 、つまり、理論上は最大「60 のチャンネルのようなもの」があると考えられます。

これを理解すると、FT8 の送受信ソフト「WSJT-X」のスペクトラムスコープも理解できることになります。(以下図、7.041MHz で運用する例)



QSO 相手とは、15 秒毎に、送信・受信が切り替わります。時刻は標準時刻が基準になりますので、PC の時計は秒単位で正確に合わせておく必要があります。

今回は、実際の運用で出くわしたあれこれを紹介します。

※ 参考資料 JARL 長岡クラブ会報 <https://www.jarl.com/ja0yacd/174/No,174.html>

近況報告

JI5SAO

昨年香川マラソンコンテストの期間中クラブ局、JA5YDEの当番の前日12月11日に心筋梗塞になり今年1月13日迄病院に入院していました。クラブ局の当番ができなくなりましてご迷惑お掛けしました。

入院が長くなりまして昨年度の香川マラソンコンテストのログの提出は残念ながら間に合わず、年明けのQSOパーティーも本年度は不参加で終わってしまいました。

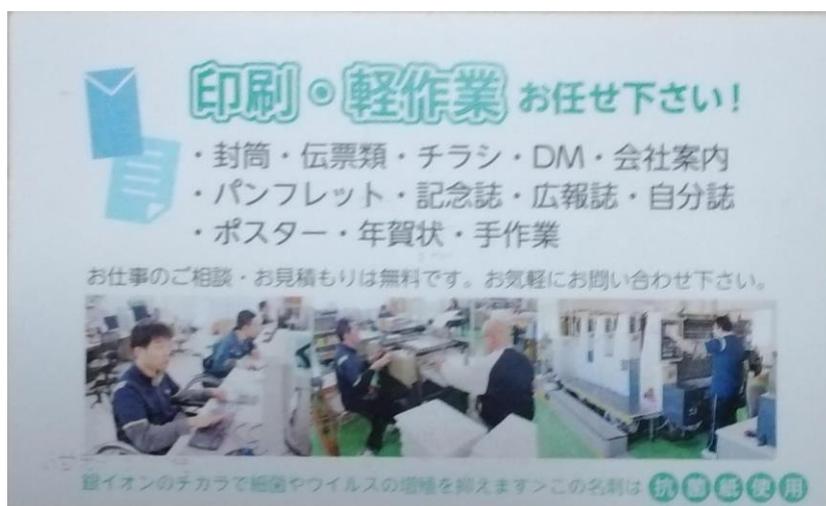
退院して半年が過ぎましたが、医者からは2階の部屋の生活を認めては頂きましたが2階の部屋に居るときに心臓発作をおこすと救急車で運ぶ時に大変ですので母親からは2階の生活はもう少し待って欲しいと言われていています。そのためいまだ下の部屋で生活をしている状態でアマチュア無線にはあまり出てない状態です。

心筋梗塞になってしまいましたら他の治療を中断した病気もあり、母親の体調が悪いことも引っ掛かってしまい一般企業への就職は思ったよりも難しい状況です。7月11日～14日迄「社会福祉法人 朝日園」「障害者支援施設 朝日園」に実習訓練に行き合格することができました。7月26日から朝9時～16時迄になりますが（当分は半日の9時～12時迄）一般企業に就職をする前に1年契約で印刷・軽作業の訓練に行っています。

今は早く一般企業に就職ができる様に頑張っていますが、障害者達のする仕事が少ないので、JARL NEWSのコピーや届いたQSLカードを見て頂き、オリジナルのQSLカードも印刷できるようになりました。他に封筒や名刺、いろいろ印刷して頂けますのでJARL香川クラブのクラブ員の方にもご協力して頂けます方は宜しくお願ひします。

オリジナルのQSLカードを直接注文連絡をされる方は「印刷第2課の丸山さん」の紹介と言えは分かりますので宜しくお願ひします

朝日園印刷担当 大塚基史様 Eメール****@*****.**.jp宛にメールをして下さい。
私宛に連絡する場合は Eメール*****@*****.**.jp宛にメールをして下さい。



印刷・軽作業 お任せ下さい!

- ・封筒・伝票類・チラシ・DM・会社案内
- ・パンフレット・記念誌・広報誌・自分誌
- ・ポスター・年賀状・手作業

お仕事のご相談・お見積もりは無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。

超音波のチカラで細菌やウイルスの増殖を抑えます。この名刺は 抗菌紙採用

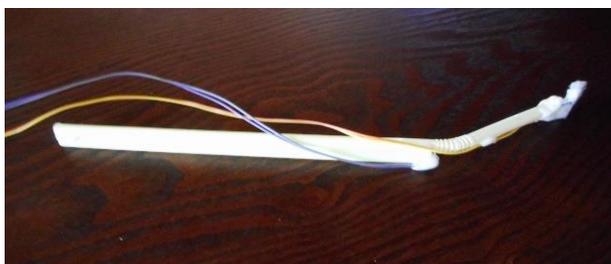
こどもの国の電波教室（Ⅱ）この3年間で振り返って

JA5TOP

前回令和元年7月に行われた電波教室の記事をクラブ報 No426 に掲載していただきましたがその後新型コロナの感染症で令和2年は中止。令和3年は何とか既製品のラジオキット製作で電波教室は実施できた。そしてあの大きな失敗（46個中15個のクレームと時間オーバー）を出した令和元年電波教室から3年経過、本年7月今回のオリジナル金属探知機の工作教室予定時期を迎えた。前回悔しい思いをしてから3年後リベンジとしたのは知識もなく準備をするのに大変な時間がかかることが容易に想像できたと同時に自信もなかった。しかし、前回の直後からメラメラと再チャレンジの気持ちがわいてきていた。1週間後にはクレーム品の修理返却を終わり、ノートにその理由や内容を記録した。各パーツの原材料を少しずつ購入してから工具や治具などを考えて次の準備にかかりました。



最初は元年の夏に0.4mmのポリウレタン銅線10M巻き1セットで1個、1個コイルを巻き5個の試作コイルを作った。考案者の残したパーツと組み合わせて電線をはんだしてストロー、LEDなどをグルーガンで固めてセンサー部をつくった。作動する金属探知機と作ったセンサーを取り替えながら実験、そのすべてが作動した。令和元年秋でした。この時これは見よう見まねで同じものをたくさん作れば電波教室がやれそうだと感触を得た。コイル材料を追加購入してコイル巻き作業、それからいよいよやる気になってプラスチックのシール容器を75個購入。友人から卓上ボール盤を借りてきて、箱一



個に4種類25個の穴を合計1875個あけて箱の加工をした。塩ビ管でセンサー立ても作ろうとしたが塩ビ管をきるカッターがあってもどうしても斜めに切れて全部グラインダーで仕上げ加工をした。これは粉が飛んで大変でした。何日も何日も部屋にこもり箱は完成したが家族は冷ややかでした。

令和元年のJARL製作技術講習会でも後ろでこそとグルーガンでコイルを固める内職をしてコツコツとパーツ作りを進めた。

令和元年末にセンサー部コイル側半分が完成した。





田付け練習をしたため時間はオーバーしたが音が出た時は参加者大喜びで成功裏に終了した。

これに気を良くして時期的にも 1 年前で令和 3 年秋に秋月電子通商へ電子パーツを JA5COY 大井 OM に発注してもらいました。パーツは大井宅へ 1 週間くらいで到着して引き取りに行きましたがこれは私の都合でした。トランジスターもコンデンサーも当時の物と同じもの (JA5CKS 井上 OM が購入した古い物) は無くトランジスターの電気特性も変わっており、数の多い LED でセン



ドボードに差し込みミスが無いようにした。何千か所というはんだ数にもなりましたがコツコツと進めてなんとか完了。

自分なりに過去の参加者の実績を記録していろいろ対策をして 7 月 24 日 (日) の電波教室にそなえた。

パーツをネジで止めたり結束バンドで取り付けたり、ブレッドボード (基板) に電子部品を差し込んで組み立て、電線を差し込んだりすることが参加者の主な作業です。内容を大きく分けると感度調整つまみの取り付け (わかりやすくするためスイッチのつまみは取付済で同じようにしてもらった)、コイルと LED が光るセンサー部品の電線をつなぐ。結束バンドで 9V 電池とりつけ、箱と蓋部のシールを貼る、ブレッドボードと電子パーツ組立て箱の底面に張り付ける、このブレッドボードに配線をつなぐのがこの工作でした。

イヤホンは周りの知り合いに頼んで飛行機のテレビや音楽を聴くものを少しずつ手に入れた。新型コロナの影響もあったが最終的には 80 個位集まった。令和 2 年にはシールの印刷や途中はんだ作業も多くありました。

令和 3 年の前半は電波教室「ラジオをつくろう」の準備、7 月に実施しましたが新型コロナが収まらない中、申込み開始 20 分で定員オーバーとなる盛況ぶりで既製品のキットで最初に半



変わっており、数の多い LED でセンサーの光る部分を作りコイル部分と発光部のストローをグルーガンで固定して 70 個のセンサー部を完成させた。この前後にはクラブ仲間の横田 OM に大変お世話になりました。イヤホンの電線をはんだして電子部品入荷の後スイッチの電線はんだ、感度調整ボリュームの電線はんだなど 8 か所×約 75 個など 600 か所以上のはんだ付けを手伝ってもらい、なおかつ子供相手のため電線の先を全部はんだのせをしてニッパーで切ってブレッ

今回は工程ごとに分けた工作説明書を1枚1枚作ってわかりやすく、説明書は全部を一度に配布せず、配るタイミングで大勢の参加者の進行状況を調整した。また子どもたちは1時間以上の連続作業にあきる事などを知って工作部分を減らして（間違いやすいところを減らすがこの準備手間が増える）給水やトイレ休憩時間を取った。完成した金属探知機を使って10分位ですがひらがなを探すシール張りも取り入れたら子どもたちは目をキラキラさせながら楽しんでいました。今回は過去を振り返り工夫により時間オーバーも無くクレームもほとんどありませんでした。音が聞こえるのにLED故障のため光が出ないものが1個ありましたが私のリベンジは達成されたものと思っています。電波適正利用推進員全員で成功を喜び参加者、こどもの国のスタッフに感謝されながら終了しました。午前の部2時間20名、午後の部2時間17名参加の電波教室でしたがコロナ欠席を除いて参加者37名+保護者32名の多くの人に電波の知識や大切さを知っていただきました。



コンテスト参加報告

「JA5YDE」がコンテストに参加しました。

オールJA5コンテスト(7/16~17)

バンド	交信局数	マルチ
1. 9MHz	8局	8
3. 5MHz	97局	40
7MHz	249局	47
14MHz	31局	19
21MHz	15局	11
28MHz	2局	2
50MHz	1局	1
合計	403局	128
得点	51, 584点	
総交信局数	409局	
OP : JA5CAU, JI5XTP		

JARL主催コンテスト

JARL主催コンテストその他クラブ対抗部門があるコンテストに参加した時には、サマリーシートの登録クラブ対抗欄に

登録クラブ番号	36-1-1
登録クラブ名	JARL香川クラブ

と記入するようにお願いします。

個人のアクティビティー向上とクラブの活性化のため、どしどしコンテストに参加しましょう。

リクエスト移動運用

JI5XTP

日本一周無線旅の2回目が終わり、帰宅後 PC メールを開くと無線関係で400通程の受信メールがあった。そのほとんどが h-qls メール（ハムログ作者が作成した電子 QSL）



h-qls カード

道の駅にする。リストから移動地を選択し、隣の選択窓にドラックすると日本地図上に選択ポイント番号が表示される。同じ操作を繰り返すと地図上にドライブコースが作成でき、移動地間の距離と所要時間そして移動地間の中継地も表示される。中継地は変更することも出来る。この資料を基に移動スケジュール表を作成する。移動3日前には移動車に持参品を積み込み、アンテナとATUとリグの調整確認をする。アンテナはモービルホイップ・ラデックスの短縮 V-DP・10m のロングワイヤーの3点、リグは IC-7000M と IC-7100M の2点（1台は予備機）アンテナ関係と SWR は時間をかけて念入りに調整するため1日を要する。

リクエスト移動運用のデメリットはリクエスト局との交信が出来るまで QRV をしなければならない。あるリクエスト地では QSO が途切れてもリクエスト局が呼んでこない。たまりかねて SMS に移動地内容を打ち込むと「今日はコマースシャルになりました」との返信。「もっと、はよ連絡してよ」とぼやくこともある。ストレスもたまるが移動運用が大好きだから出来る仕事？である。

リクエスト地 48カ所 交信局数 1,703 走行距離 2,058km

だ。残りは四国内移動のリクエストだった。リクエストの内容は 7MHz・10MHz・18MHz の CW 交信依頼で当局も一度は訪問したかった高知県安芸郡奈半利町と馬路村もあった。リクエスト依頼者は8局で訪問地は47カ所あった。依頼者の中にはまだ CM 中の局長も居たので移動日を土・日曜日の2泊3日にして3回に振り分けた。少しハードな移動になりそうだ。早速、移動ルートの作成作業だが今回からは JAF ナビ（JAF 会員であれば登録できる）を利用することにした。以前は JAF ドライブマップ+MapFan でスケジュール作成をしていた。JAF ナビ作成画面で移動地の都道府県名を選択し、ジャンル（ジャンルは30あり選択すると選択リストが表示される）を

JAF ナビ作成画面



クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送 付 先：E-mail

Fax

郵 送 先：〒761-

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成74年(1948年10月結成)になります。

そこで更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

JARL香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

会員の皆様には令和4年度分会費納入ありがとうございました

***** 会費納入口座 *****

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好 伸幸
編 集 者	JA5TOP	平賀 正明
	J15SAI	平田 昌三
	J15VUZ	市原 義博
	J15XTP	坂内 信洋
	JG5JXW	坂井 進史